

マッチプレーQ&A

Q マッチプレーとはどのようなゲームを言うのですか？

A マッチプレーは各ホールごとに勝敗を競い、少ないストローク数でホールに入れた方がそのホールの勝ちとなり、一方が残りのホール数よりも多く勝ち越したときにそのマッチの勝ちとなります。

Q マッチプレーの勝敗はどのように表すのですか？

A マッチの勝敗は「何ホールアップ」で勝ち越しているホール数で表します。マッチの勝敗がタイの場合には「オールスクエア」とか「イーブン」と言います。

Q マッチプレーで「ドローミー」とか、「ドローミー・ホール」という言葉を使いますが、どのような意味ですか？

A 一方のサイドがアップホール数が残りのホール数と同じ数になったとき、そのサイドは「ドローミー」ということとなります。例えば、18ホールのマッチプレーで、AさんとBさんのマッチで、Aさんが3upで15番を終わったような場合Aさんは「ドローミー」となります。

Q 「コンシード」とはどういう意味ですか？

A マッチプレーではマッチを始める前であろうと、終わった後であろうと、いつでもそのマッチをコンシードすることができます。この場合のコンシードとは「勝ちを譲る」ということを意味します。例えば、マッチプレーのスタート前に、プレーできない事情が生じたりした場合に、そのマッチの勝ちを相手に譲ることができます。また、マッチが終わった後、そのマッチに勝ったとしても、勝ちを相手に譲ることもできます。

また、ホールをコンシードすることもできます。例えば、2番ホールをホールアウトしなくても、2番ホールの勝ちを相手に譲ることができます。

さらに、ストロークをコンシードすることもできます。短いパットに限らず、止まっている球に対する次のストロークを免除して、ホールに入ったものと扱うことができます。

一度コンシードをした時は、辞退することも、取り下げることができません。(R2-4)

Q マッチプレーで処置についての疑問や紛議が起きた場合、どうすれば良いですか？

A 質問のような場合、プレーヤーは委員会にクレームを出すことができます。委員会から権限を与えられている人がすぐにその場に来ることが出来ない場合はプレーヤーはプレーを遅らせることなく、マッチを続けなければなりません。いずれの場合でも、プレーヤーは次のことを、次のホールのティーインググラウンドからプレーする

前に相手に告げておかなければなりません。(R2-5)

- (1)クレームを出すという本人の意思
- (2)クレームに関連のある事実関係
- (3)裁定を求めたいという本人の希望

Q 次のホールのティーショットをした後に、前のホールに関する紛議が起きたのでクレームを出しました。このクレームは有効ですか？

A クレームは時限内、つまり、次のホールのティーインググラウンドからプレーする前（最終ホールではマッチの当事者全員がパッティンググリーンを離れる前）に出さなければなりません。これはマッチプレーというのは1ホールごとの勝負であり、次のホールに進む前にそのホールの問題を解決しておかなければならないからです。したがって、時限後に出されたクレームを委員会が取り上げることは原則としてありません。(R2-5)

Q 時限後のクレームを委員会が取り上げることは原則としてないということですが、時限後のクレームを委員会が取り上げる場合もあるのでしょうか？

A クレームの内容がクレームを出したプレーヤーが知らなかった事実によるものであり、そのプレーヤーが相手から誤報を与えられていた場合には時限後のクレームであっても有効となります。例えば、前のホールで、相手が自分の見ていないところで球を動かしており、しかもその事実を相手が告げていなかったことが、次のホールのティーショットをプレーした後に発覚したような場合は、発覚した時点で出されたクレームも有効として取り扱います。(R2-5)

Q 「誤報」とはどういうものを言うのですか？

A 次の場合、「誤報」を与えたものとみなされます。

(1)罰を受けたことをできるだけ速やかに相手に告げなかった場合。

ただし、相手がそれを見ていたときや、相手が次のストロークをする前に誤りを訂正した場合は除きます。

(2)1ホールのプレー中にそれまで要したストローク数について間違えた情報を与え、相手が次のストロークをする前に、プレーヤーが誤りを訂正しなかった場合

(3)そのホールで要したストローク数について間違った情報を与え、そのホールの勝敗について相手の理解に影響を与えた場合。ただし、次のホールをプレーする前に訂正した場合は除きます。

誤報を相手に与えた場合は、そのホールの負けとなります。(R9-2)

Q 違反クラブを持ち運んだり、超過クラブを持ち運んだ場合の罰は「違反が発見された時点でのマッチの状態を、違反があった各ホールについて 1 ホールずつ差し引いて調整する。ただし、差し引くのは 1 ラウンドにつき最高 2 ホールまで」と規定していますが、具体的な例を挙げて説明して下さい。

A 例えば、AさんとBさんのマッチプレーで、2番ホールを終えて、Aさんの2upでした。3番ホールに行く途中、Bさんは自分のバッグの中に15本クラブが入っていることに気づきました。この場合、Bさんは1番と2番で違反をしているのでAさんの2upというマッチの状態を2ホール差し引いて調整すると、Aさんの4upということになります。(R4)

Q マッチプレー競技の行われる当日、スタート前にその競技の行われるコース上で練習することができますか？

A できます。ただし、委員会は競技規定で当日に競技の行われるコースでの練習を禁止することができます。(R7-1)

※ 今大会では禁止となります。

Q あるホールで全員がホールアウト後、練習パットはできますか？

A できます。ただし後続のプレーヤーの妨げにならないこと、プレーの進行に十分注意することが必要です。

Q あるホールで相手がティーショットを2回続けてアウトオブバウンズとしたために、相手はそのホールをコンシードしました。この場合、そのホールをプレーして次のホールに行くことができますか？

A できます。ホールの結果は決定しているのにそのホールのプレーを続けても、そのストロークは練習ストロークとはなりません。(R7-2)

Q マッチプレーでプレーの順番を間違えると罰を受けるのですか？

A 罰はありません。ただし、相手はそのプレーヤーに対して、そのストロークを取り消して、正しい順番でプレーをし直すように要求することができます。(R10-1c)

Q マッチプレーで誤球のプレーをした場合の罰は？

A そのホールの負けとなります。(R15-3)

Q マッチプレーでAさんが止まっているBさんの球を動かしました。この場合、罰を受けますか？

A 球を捜索中以外のときに、相手が止まっている球を動かした場合、1打の罰を受けます。質問のケースではAさんに1打の罰が課せられます。(R18-3)

Q マッチプレーでAさんがストロークしたところ、Bさんに当たってしまいました。この場合、どのように処置するのですか？

A 罰なしに、球をあるがままの状態プレーするか、元の位置から再プレーすることができます。(R19-3)

Q マッチプレーで、AさんとBさんの球はパッティンググリーン上にありました、Aさんが先にパットしたところ、Bさんの球に当たりました。この場合、罰を受けますか？

A 罰なしに、球はあるがままの状態プレーしなければなりません。(R19-5a)

Q マッチプレーで、AさんはBさんの球がアドレス後に動いたのを見ていましたが、Bさんから特に報告もなく、また、Aさんも既にそのホールの勝ちが決まったのも同然だったのでその違反を見逃しました。この場合、罰はありますか？

A 罰はありません。マッチプレーでは合意の反則があれば別ですが、相手の反則を見逃すことができます。相手の違反を大目に見てあげることと、相手と合意の上で規則を排除したり、罰を免除することは別のことです。